ITOKI

PL賠償責任加入済

フリーワンW

取扱説明書【保証書付・保存版】

主対象機種：JH型

この度はイトーキ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この説明書は、製品の使いかたと、ご使用上の注意を記載しています。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しい使いかたで末永くお使いください。
お読みになったあとも大切に保存し、わからない時にご再読ください。

⚠警告

ボルトやネジがゆるんだまま使わないでください。
商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意

必ず2人で組み立ててください。
商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意

必ずプラスドライバーを使用してください。
マイナスドライバーを使用するとピンが折れてケガをすることがあります。

灯具・コンセントの取り付けかた・詳細に関しましては灯具に同梱されております取扱説明書をご参照ください。

INDEX

安全上のご注意 …… 2
各部の名称・付属品 …… 4
選べるスタイル …… 5
フロントスタイルの組み立てかた …… 6
L型スタイルの組み立てかた …… 7
ユニットスタイルの組み立てかた …… 8
セパレートスタイルの組み立てかた …… 8
本体（単体）の組み立てかた …… 9
樹脂フックの取り付けかた …… 9
本体（ベース棚連結）の組み立てかた …… 10
ベース棚の組み立てかた …… 12
書棚の分割と連結 …… 13
転倒防止金具の取り付けかた …… 13
棚板・仕切板について …… 14
ツマミの取り付けかた …… 15
上棚へのコンセント取り付けについて …… 15
ワゴンについて …… 16
灯具について …… 17
故障かな?と思ったら …… 18
ご使用上の注意 …… 19

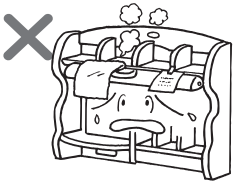
⚠安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただくため、必ずお守りください。

注意の種類の規定:JOIFA（社団法人日本オフィス家具協会）の規定に基づいて危険や損害の程度を次の表示で区分しています。

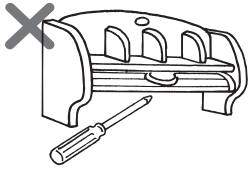
⚠警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性が想定されるか、拡大物的損害のみの発生が想定される場合



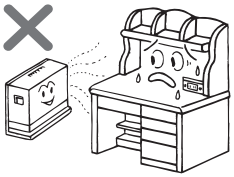
⚠警告

紙や布などを灯具の上においたり、かぶせたり、ランプに密着させないでください。感電や火災の原因になります。



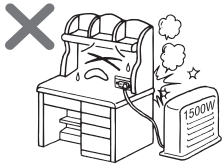
⚠警告

器具の改造や分解はしないでください。火災の原因になります。



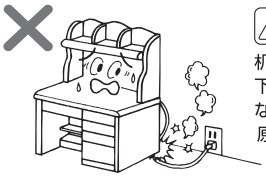
⚠警告

火のそばで使わないでください。火災の原因になります。



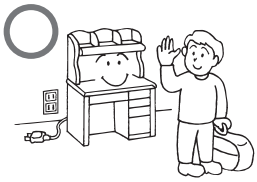
⚠警告

コンセントに表示の容量以上の電気製品を接続しないでください。コードの加熱により火災の原因になります。（合計1400Wまで）



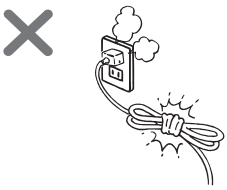
⚠警告

机をセットする時、机の下に電気コードをはさまないでください。火災の原因になります。



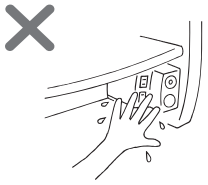
⚠警告

旅行等で長期間ご使用にならない時は、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。



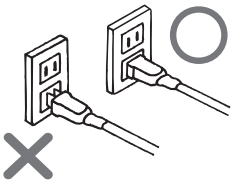
⚠警告

電気コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたまま使用しないでください。火災の原因になります。



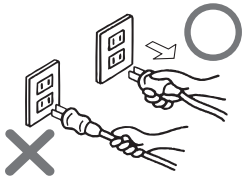
⚠警告

コンセントの差し込み口に金属物を差し込んだり、ぬれた手で触らないでください。感電の原因になります。



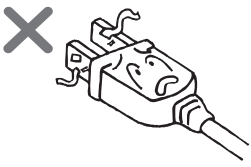
⚠警告

コードプラグのコンセントへの差し込みは根元まで確実に行ってください。火災の原因になります。



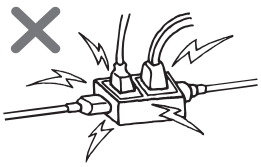
⚠警告

電気コードを持ってコンセントから引き抜かないでください。コードの断線により火災の原因になります。



⚠警告

コードプラグの刃とその取付面にはホコリやゴミが付着しないよう清潔に保ってください。火災の原因になります。

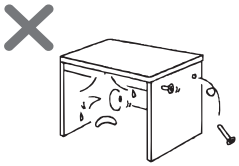


⚠警告

タコ足配線は絶対にしないでください。火災の原因になります。

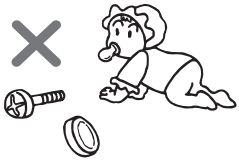
⚠警告

ワゴンの上にのったり、70kgを越える物をのせないでください。ワゴンの破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。



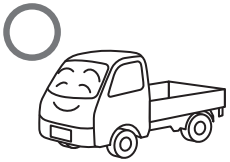
⚠警告

ボルトやネジがゆるんだままで使わないでください。商品の破損の原因になりケガをすることがあります。



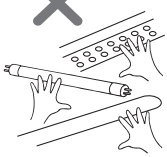
⚠警告

小さな部品の取扱いにご注意ください。お子様が飲みこむことがあります。



⚠警告

廃棄する時は、許可を受けた業者か各自治体が実施している廃品回収を利用してください。樹脂製品を燃やすと有毒ガスが発生する恐れがあります。



⚠注意

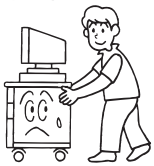
点灯時および消灯直後はLED・ランプ・セード等には触らないでください。火傷の原因になります。

⚠注意

灯具の動く範囲以上に無理な力で動かさないでください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

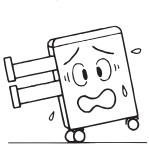
⚠注意

ホルマリン臭がするときは充分に換気してください。目が痛くなったり、肌の弱い人はアレルギーをおこすことがあります。



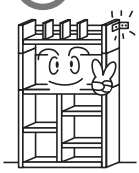
⚠注意

ワゴンに物をのせたまま移動させないでください。ワゴンの破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。



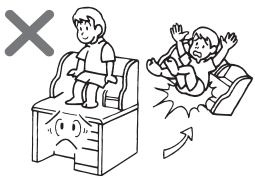
⚠注意

複数の引出しを同時に引出さないでください。ワゴンの転倒の原因になり、ケガをすることがあります。



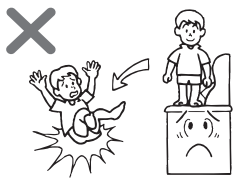
⚠注意

書棚と机を離して使用する場合は、必ず転倒防止金具を使用してください。書棚の破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。



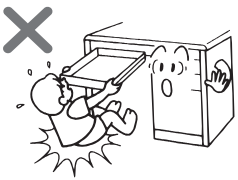
⚠注意

上棚にのったり、30kg以上の物をのせないでください。上棚の破損の原因になり、ケガをすることがあります。



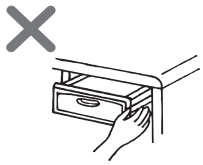
⚠注意

天板や引出しの上にのらないでください。商品の破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。



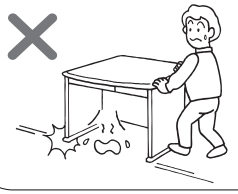
⚠注意

引出しを無理に引かないでください。ストッパーが破損して引出しが落下し、ケガをすることがあります。



⚠注意

可動部のすきまに指を入れないでください。はさんでケガをすることがあります。



⚠注意

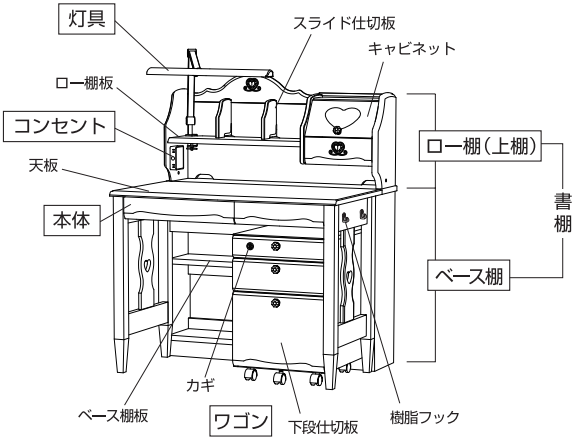
机の移動は1人でしないでください。机の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意

必ず2人で組み立ててください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

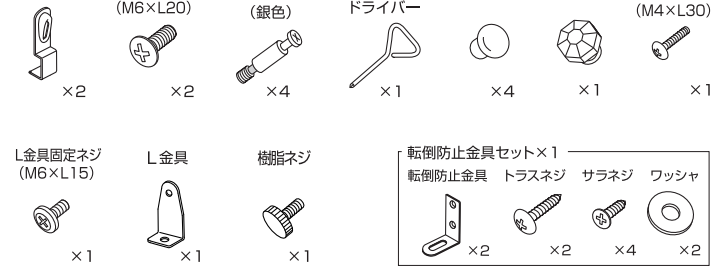
各部の名称

※イラストと現物は異なる場合があります。

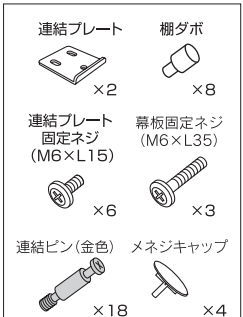


付属品

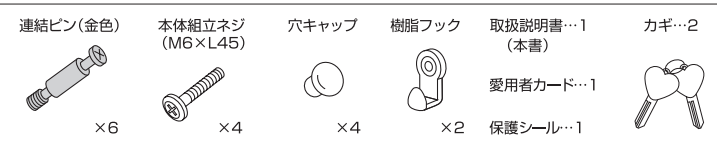
上棚に梱包



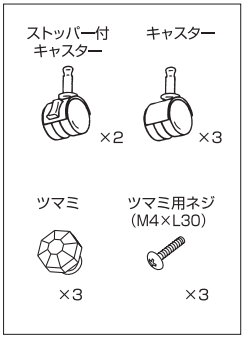
ベース棚に梱包



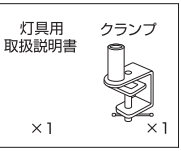
本体天板に梱包



ワゴンに梱包



灯具に梱包

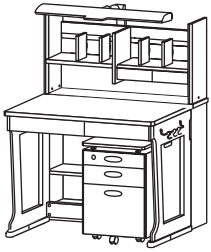


選べるスタイル ライフスタイル、お部屋のレイアウトに合わせて組み替えてお使いいただけます。

1 フロントスタイル →P.6

「デスクの背面に書棚を配置したスタイル」

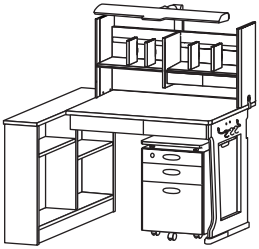
日本の子ども部屋事情に適した、スペースを取らず設置できる最もベーシックなスタイルです。本の出し入れがしやすく、片づけがスムーズに行えます。



2 L型スタイル →P.7

「天板をL型に設置したスタイル」

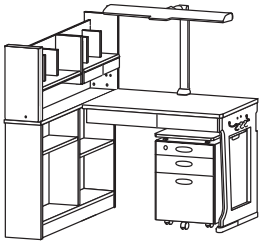
天板面が広いので、教科書、ノートなど広げるものが多いときに有効です。書棚側の側板を取り外すことで、本の出し入れがしやすくなっています。



3 ユニットスタイル →P.8

「デスクの横に書棚を配置したスタイル」

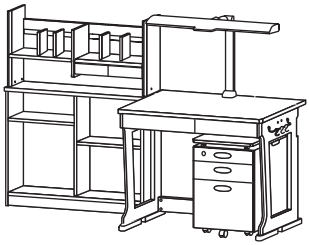
前方の視野が確保できるので、窓際に設置する際に有効です。書棚側の側板を取り外すことで、本の出し入れがしやすくなっています。



4 セパレートスタイル →P.8

「デスクと書棚を分離したスタイル」

自由に部屋のレイアウトを楽しむことができます。



⚠注意 上棚は机本体かベース棚に必ず連結してください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。
対象：全スタイル

⚠注意 書棚は部屋の真ん中には設置せず、壁や柱に転倒防止金具で固定してください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。
対象 ：セパレートスタイル

⚠注意 机と書棚は必ず連結して使用してください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。
対象 ： フロントスタイル、ユニットスタイル、L型スタイル

⚠注意 組み替えは、机の上、書棚に物の無い状態で、また、灯具、コンセントを取り外した状態で行ってください。

⚠注意 製品の移動は、引きずらないように、必ず2人で持ち上げて運んでください。床を傷つける原因となります。

⚠注意 上棚を机本体に設置する場合は、天板上で引きずらないように、必ず2人で持ち上げて設置してください。天板を傷つける原因となります。

フロントスタイルの組み立てかた

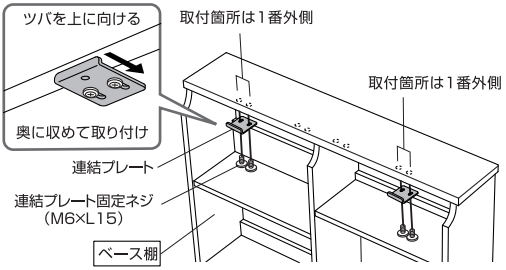
① 本体(単体)を組み立てる…… 本体(単体)の組み立てかた→P.9

② 樹脂フックを取り付ける…… 樹脂フックの取り付けかた→P.9

③ ベース棚を組み立てる…… ベース棚の組み立てかた→P.12

④ 連結プレートをベース棚に取り付ける

連結プレート(2ヶ)を連結プレート固定ネジ(4ヶ/M6×L15)で、ベース棚に取り付けてください。この時、ツバを上に向けて連結プレートを奥に収めた状態で取り付けてください。取付箇所は一番外側の左右2箇所です。



⑤ ベース棚に上棚を連結する …… 書棚の分割と連結→P.13

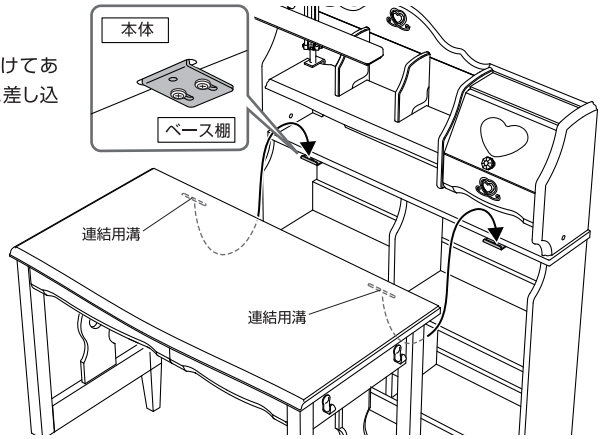
⑥ 灯具を上棚に取り付ける …… 灯具について→P.17

⑦ 上棚にスライド仕切板、キャビネット仕切板、ツマミ、穴キャップを取り付ける……

棚板・仕切板について→P.14 ツマミの取り付けかた→P.15 上棚へのコンセント取り付けについて→P.15

⑧ 本体とベース棚を連結する

机本体を少し持ち上げ、ベース棚に取り付けてある連結プレートのツバを本体の連結用溝に差し込んでください。



⚠注意 机と書棚は必ず連結して使用してください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

⑨ ワゴンを組み立てる …… ワゴンについて→P.16 ツマミの取り付けかた→P.15

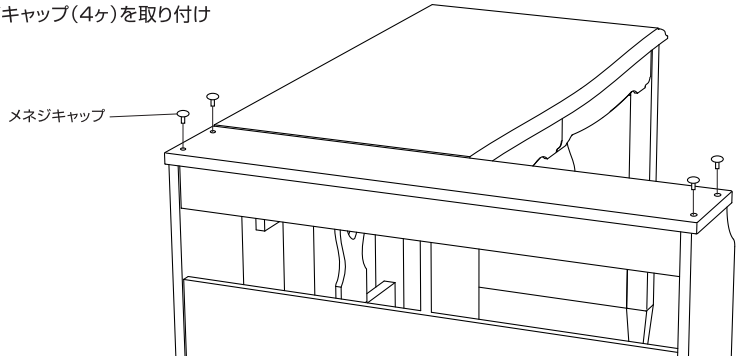
L型スタイルの組み立てかた

① ベース棚を組み立てる……ベース棚の組み立てかた→P.12

② 本体(ベース棚連結)を組み立てる……本体(ベース棚連結)の組み立てかた→P.10

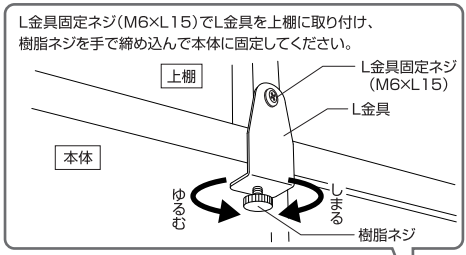
③ ベース棚にメネジキャップを取り付ける

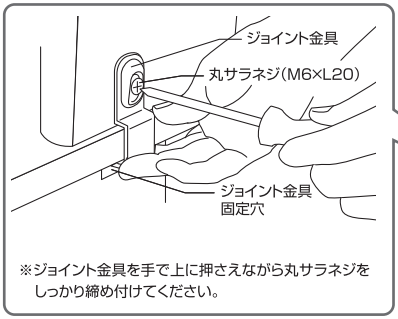
ベース棚の天板にメネジキャップ(4ヶ)を取り付けてください。



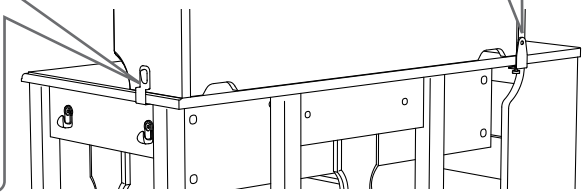
④ 本体に上棚を固定する

本体に上棚をのせ、ベース棚と連結している側は背面からL金具で、反対側は側面からジョイント金具で、固定してください。





※ジョイント金具を手で上に押さえながら丸サラネジをしっかり締め付けてください。



⑤ 灯具を上棚に取り付ける ……灯具について→P.17

⑥ 上棚にスライド仕切板、キャビネット仕切板、ツマミ、穴キャップを取り付ける……

棚板・仕切板について→P.14 ツマミの取り付けかた→P.15 上棚へのコンセント取り付けについて→P.15

⑦ ワゴンを組み立てる ……ワゴンについて→P.16 ツマミの取り付けかた→P.15

ユニットスタイルの組み立てかた

① ベース棚を組み立てる……ベース棚の組み立てかた→P.12

② 本体(ベース棚連結)を組み立てる……本体(ベース棚連結)の組み立てかた→P.10

③ ベース棚に上棚を連結する ……書棚の分割と連結→P.13

④ 灯具を本体に取り付ける ……灯具について→P.17

⑤ 上棚にスライド仕切板、キャビネット仕切板、ツマミ、穴キャップを取り付ける……

棚板・仕切板について→P.14 ツマミの取り付けかた→P.15 上棚へのコンセント取り付けについて→P.15

⑥ ワゴンを組み立てる ……ワゴンについて→P.16 ツマミの取り付けかた→P.15

セパレートスタイルの組み立てかた

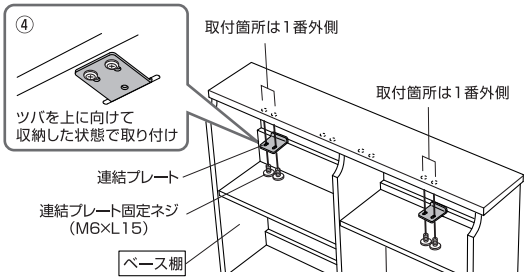
① 本体(単体)を組み立てる……本体(単体)の組み立てかた→P.9

② 樹脂フックを取り付ける……樹脂フックの取り付けかた→P.9

③ ベース棚を組み立てる……ベース棚の組み立てかた→P.12

④ 連結プレートをベース棚に収納する

連結プレート(2ヶ)は使用しませんので、ツバを上に向けて収納した状態で連結プレート固定ネジ(2ヶ/M6×L15)で、ベース棚に取り付けてください。取付箇所は一番外側です。



ベース棚に上棚を連結する ……書棚の分割と連結→P.13

灯具を本体に取り付ける ……灯具について→P.17

上棚にスライド仕切板、キャビネット仕切板、ツマミ、穴キャップを取り付ける……

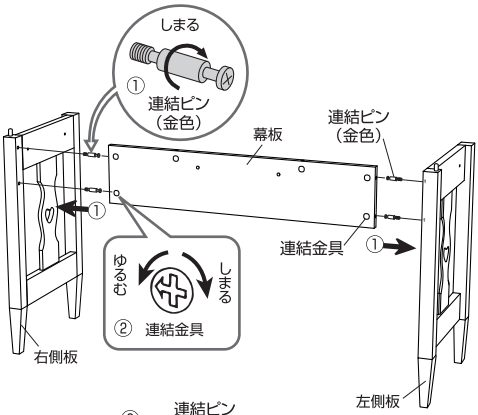
棚板・仕切板について→P.14 ツマミの取り付けかた→P.15 上棚へのコンセント取り付けについて→P.15

書棚を壁面に置き、転倒防止金具を取り付ける……転倒防止金具の取り付けかた→P.13

ワゴンを組み立てる ……ワゴンについて→P.16 ツマミの取り付けかた→P.15

本体(単体)の組み立てかた

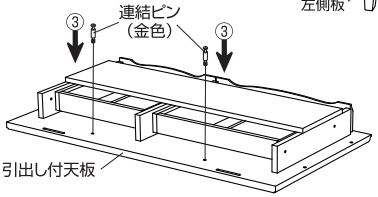
対象:フロントスタイル、セパレートスタイル



左右の側板と幕板を固定

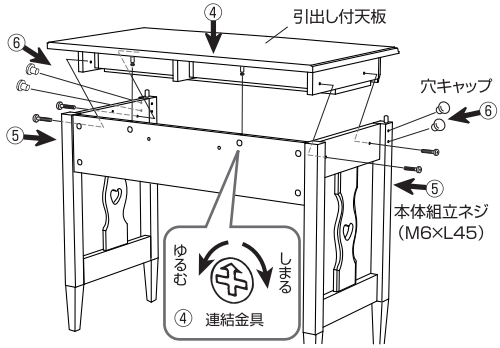
① 左右の側板に連結ピン(各2ヶ/金色)を取り付けます。

② 幕板の連結金具の矢印が外側を向いているか確認してから(以下同様の工程の際は確認してください。)連結ピンを幕板のピン穴に差しこみ、連結金具を「しまる」の方向にしっかりと締め込んでください。



引出し付天板を固定する

③ 天板裏面に連結ピン(2ヶ/金色)を取り付けます。

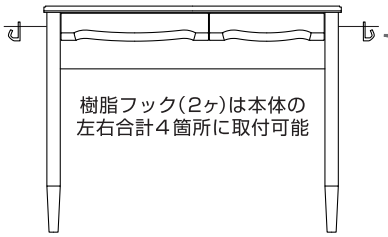


④ ②の枠体の上に引出し付天板をのせます。
この時、天板の連結ピンを幕板の連結金具に差し込み、各連結金具をプラスドライバーで締め込んでください。

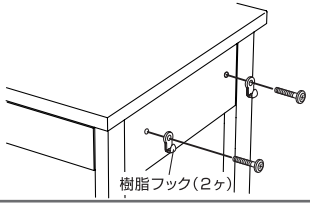
⑤ 側板の外側から本体組立ネジ(4ヶ/M6×L45)で引出し付天板を組み付けます。

⑥ 側板の穴に、穴キャップ(4ヶ)を取り付けてください。

樹脂フックの取り付けかた



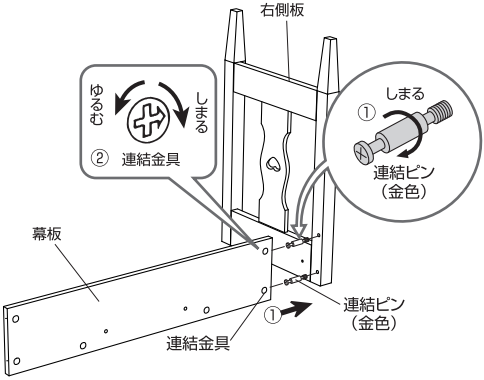
本体組立ネジ(2ヶ/M6×L45)を一度取り外し
樹脂フック(2ヶ)を取り付けてください。



本体(ベース棚連結)の組み立てかた

対象:ユニットスタイル、L型スタイル

書棚は机本体の左右どちらにでも取り付けることができます。
ここでは、書棚を机に向かって左側に取り付ける形でご説明しております。

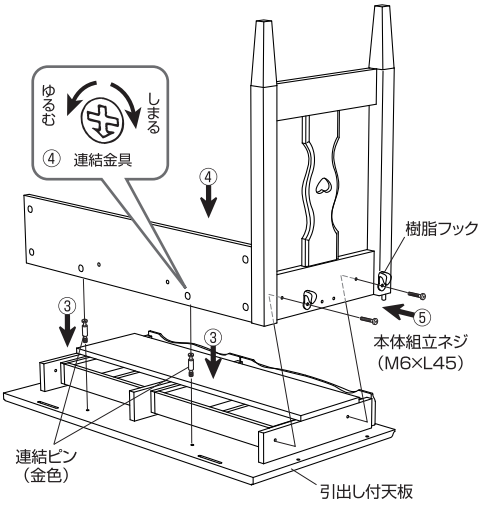


右側板と幕板を固定する

※ 左図のように天地逆にした状態で組み立ててください。

① 右側板に、連結ピン(2ヶ/金色)を取り付けます。

② 幕板の連結金具の矢印が外側を向いているか確認してから(以下同様の工程の際は確認してください。)右側板の連結ピンを幕板側面の連結金具に差し込み、各連結金具を「しまる」の方向にしっかりと締め込んでください。

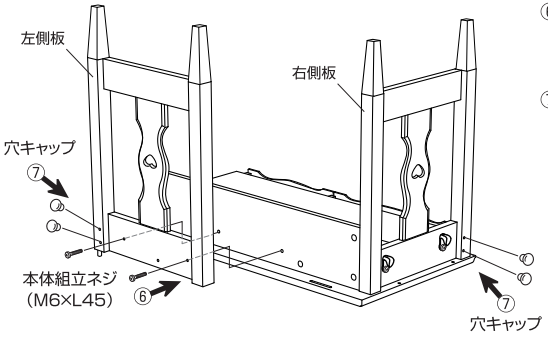


引出し付天板と側板・幕板を固定する

③ 天板裏面に連結ピン(2ヶ/金色)を取り付けます。

④ 引出し付天板の上に②の枠体をのせます。
天板裏面の連結ピンを幕板の連結金具に差し込み、連結金具を「しまる」の方向にしっかりと締め込んでください。

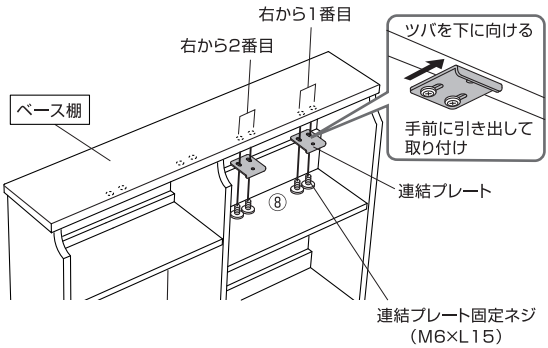
⑤ 右側板の外側から本体組立ネジ(2ヶ/M6×L45)で天板を組み付けます。この時、樹脂フックを取り付けてください。



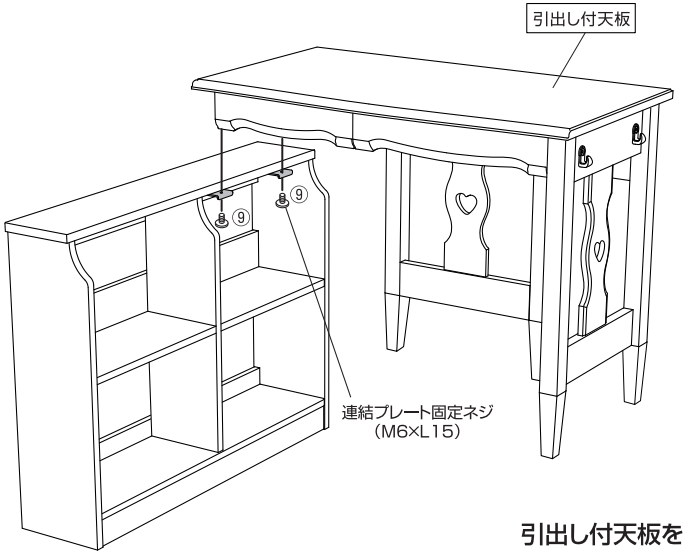
⑥ 左側板を本体組立ネジ(2ヶ/M6×L45)で幕板に組み付けます。

⑦ 左右の側板の穴に、穴キャップ(各2ヶ)を取り付けてください。

連結プレートをベース棚に取り付ける



⑧ 連結プレート（2ヶ）を連結プレート固定ネジ（4ヶ/M6×L15）で、ベース棚に取り付けてください。
この時、ツバを下に向けて連結プレートを手前に引き出した状態で取り付けてください。
取付箇所は、右から1番目と2番目です。



引出し付天板を固定する

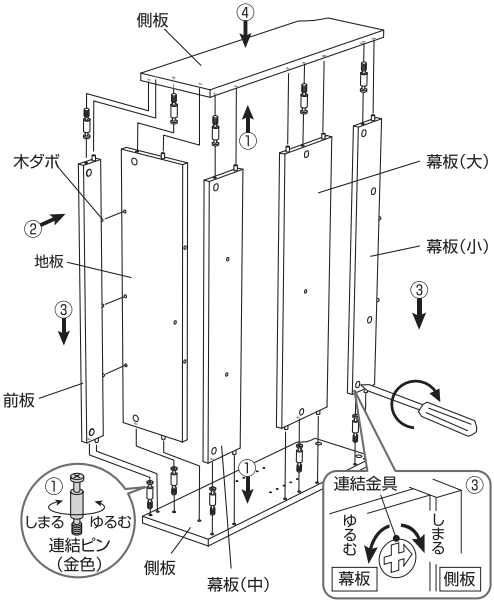
⑨ 連結プレート固定ネジ（各1ヶ/M6×L15）で天板とベース棚を固定してください。

⚠注意

机とベース棚は必ず連結して使用してください。
本体・書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

ベース棚の組み立てかた

最初に仮組みし、最後に増し締めをして組み付けてください。



幕板、地板、前板、左右の側板を固定

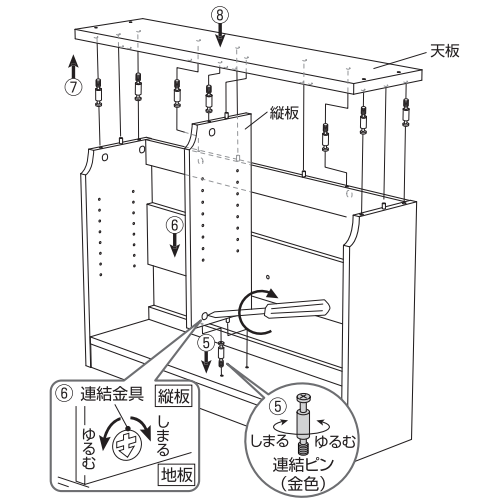
※　左図のように横にした状態で組み立ててください。

①　左右の側板に、連結ピン(各5ヶ/金色)を取り付けます。

②　地板に前板を取り付けます。
前板の木ダボを地板の穴に差し込んでください。

③　左右どちらかの側板に、②のパーツと幕板(大)(中)(小)を取り付けます。
この時、各連結金具の矢印が外側を向いていることを確認してから(以下同様の工程の際は確認してください。)各連結ピンを差し込み、各連結金具をドライバーで締め込んでください。

④　③の枠体の上にもう一方の側板をのせます。
この時、③の枠体の木ダボを側板の穴に、各連結ピンを各連結金具に差し込み取り付けてください。



縦板、天板を固定

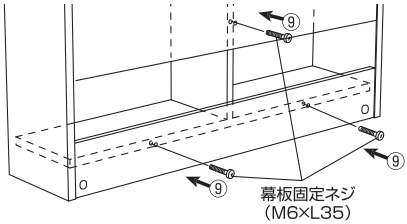
※　組み立てた枠体を正位置に戻してください。

⑤　④の枠体の地板に連結ピン(1ヶ/金色)を取り付けます。

⑥　縦板の木ダボを地板の穴に、地板の連結ピンを縦板の連結金具にそれぞれ差し込み、連結金具をドライバーで締め込んでください。

⑦　天板に連結ピン(7ヶ/金色)を取り付けます。

⑧　⑥の枠体の上に天板をのせます。
この時、⑥の枠体の木ダボを天板の穴に、連結ピンを各連結金具に差し込み、各連結金具をドライバーで締め込んでください。



⑨　幕板固定ネジ(3ヶ/M6×L35)を幕板裏面から縦板、地板に取り付けます。

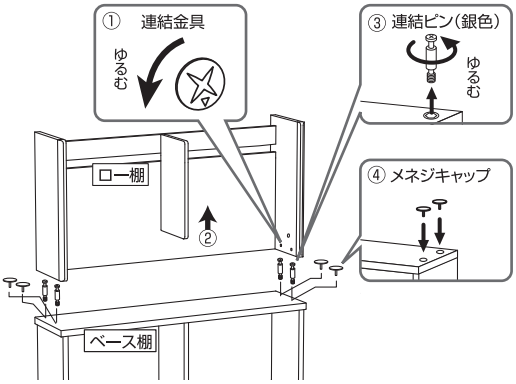
⑩　棚板を取り付けます。

棚板・仕切板について→P.14

書棚の分割と連結

分割のしかた

※書棚は、2分割することができます。



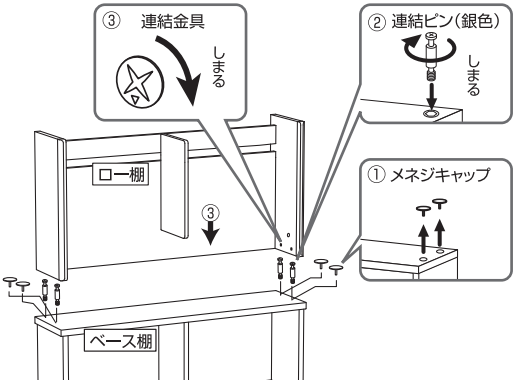
① 左右側板内側にある連結金具(4ヶ)の矢印を下に向けてください。

② ロー棚を、鉛直に持ち上げてください。

③ 連結ピン(4ヶ/銀色)を取り外してください。

④ メネジにメネジキャップ(4ヶ)をはめてください。

連結のしかた



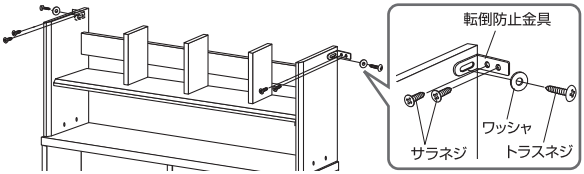
① ロー棚の側板上面、ベース棚上面にメネジキャップ(4ヶ)が付いている場合は取り外してください。

② 連結ピン(4ヶ/銀色)を取り付けてください。

③ ロー棚の左右側板の内側にある連結金具の矢印が、下を向いていることを確認して、連結ピンを左右側板の下面にあるピン穴に差し込み、連結金具を締め込んでください。

⚠注意 必ず2人で作業してください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

転倒防止金具の取り付けかた



① 書棚を壁面につけて設置してください。

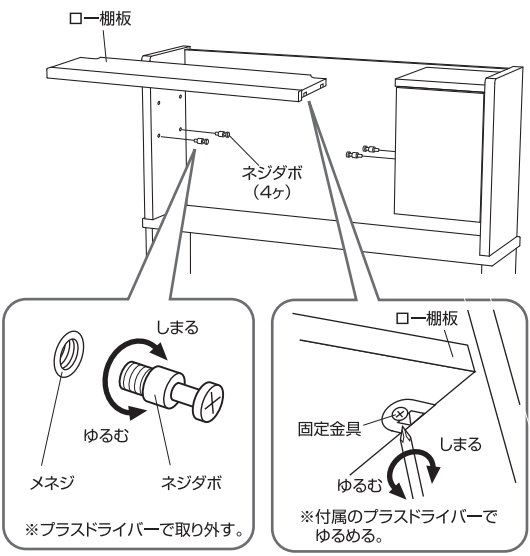
② 書棚側板のできるだけ高い位置に、転倒防止金具を取り付けてください。

⚠注意 書棚は部屋の真ん中には設置せず、壁や柱に転倒防止用金具で固定してください。
書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意 転倒防止金具は、必ず壁の芯材がある部分に取り付けてください。
書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

棚板・仕切板について

ロー棚板の取り付けかた・取り外しかた



取り外しかた

① ロー棚板の下面にある固定金具(4ヶ)を付属のプラスドライバーでゆるめてください。

② ロー棚板をゆっくりと持ち上げて、取り外してください。

③ ネジダボ(4ヶ)を取り外してください。

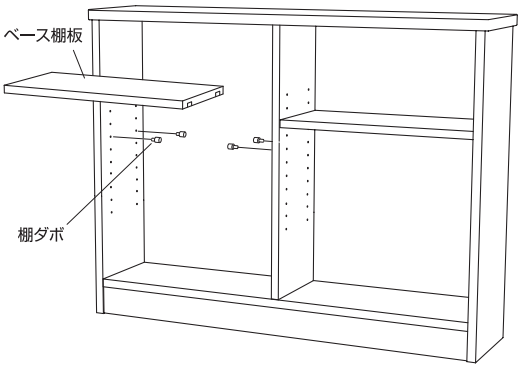
取り付けかた

① ネジダボ(4ヶ)を任意の高さのメネジに取り付けてください。

② ロー棚板をネジダボの上にのせてください。
この時、ロー棚板下面にある固定金具にネジダボをはめこんでください。

③ 固定金具(4ヶ)を付属のプラスドライバーで締め込んで、ロー棚板を固定してください。

ベース棚板の取り付けかた・取り外しかた



取り付けかた

① 棚ダボ(4ヶ)を任意の高さのダボ穴に取り付けてください。

② ベース棚板を棚ダボの上にのせてください。

取り外しかた

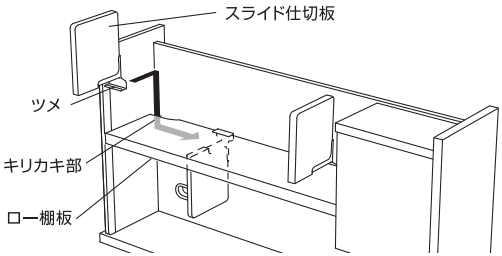
① ベース棚板を上にゆっくりと持ち上げてください。

② 棚ダボ(4ヶ)を取り外してください。

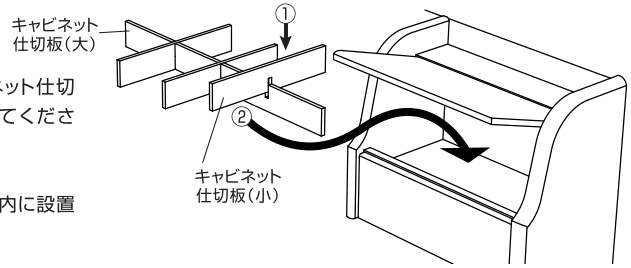
スライド仕切板の取り付けかた

① ロー棚板の左右にあるキリカキ部に、スライド仕切板のツメを差し込んでください。

② そのままゆっくりと横方向にスライドさせて、お好みの位置でご使用ください。



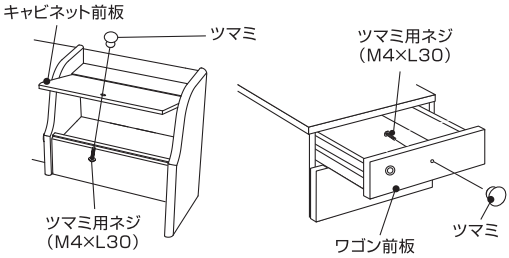
キャビネット仕切板の取り付けかた



① キャビネット仕切板(大/1ヶ)とキャビネット仕切板(小/3ヶ)を右図の様に組み合わせてください。

② ①で組み合わせた仕切板をキャビネット内に設置ください。

ツマミの取り付けかた



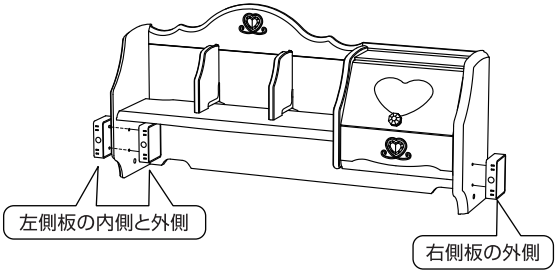
ツマミ(1ヶ)をキャビネット扉に、ツマミ用ネジ(1ヶ/M4×L30)で取り付けてください。

ツマミ(3ヶ)をワゴン前板に、ツマミ用ネジ(3ヶ/M4×L30)で取り付けてください。

上棚へのコンセント取り付けについて

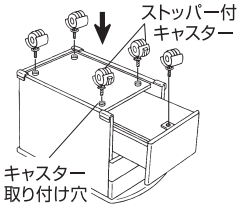
上棚のコンセント取り付け位置は、右図の3箇所となります。

※取り付けかた・詳細については、灯具に同梱されております取扱説明書をご参照ください。



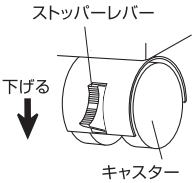
ワゴンについて

キャスターの取り付けかた



ワゴン底板と下段引出しのキャスター取り付け穴にキャスターの支軸を強く押し込んでください。
ストッパー付キャスター(2ヶ)は図の様にワゴン底板の前側に取り付けてください。

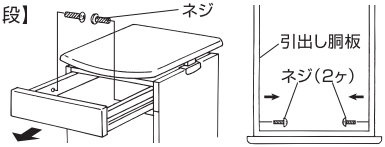
ストッパー付キャスターのロックのしかた



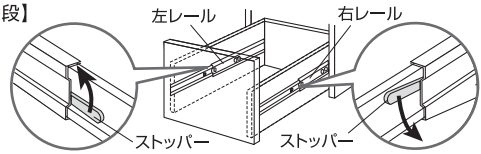
移動を止めたい時は、ワゴン前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。
※移動する時はストッパーを解除してください。ロックしたまま移動させると、キャスター破損の原因になります。

引出しの取り外しかた

【上・中段】



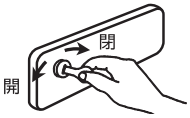
【下段】



【上・中段】
引出し胴板内側のネジを外すと、引出しは取り外せます。

【下段】
引出しをいっぱいまで引き出し、右レールのストッパーを下方向に倒し、左レールのストッパーを上方向に倒して引出しを引き抜いてください。
(本体引出しも、同様に取り外すことができます)
※引出しが固い場合には、全ての引出しを一度最後まで引き出してからご使用ください。引出しがスムーズに動くようになる場合があります。

錠前の使いかた



カギを差し込んで時計回りに180°回すと施錠され、反時計回りに回すと開錠されます。

灯具について

※イラストと現物は異なることがあります。
詳しくは灯具に同封されております取扱説明書をご参照ください。

ロー棚への取り付けかた

① ロー棚板を取り外してください。

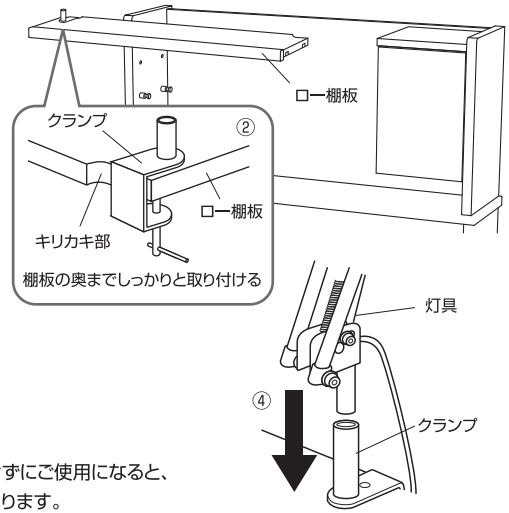
棚板・仕切板について→P.14

② ロー棚板のキリカキ部に灯具クランプを取り付けてください。

③ ロー棚板を固定してください。

棚板・仕切板について→P.14

④ 灯具支柱を、クランプに差し込んでください。

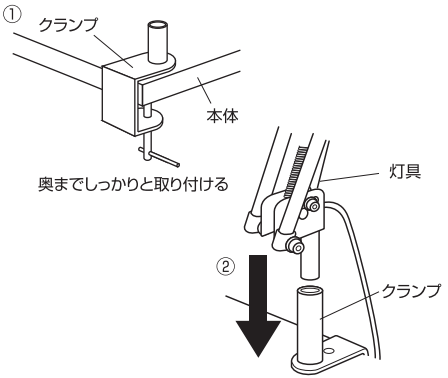


⚠警告 ロー棚板は必ず固定してください。固定せずにご使用になると、灯具の転倒により、火災やケガの原因になります。

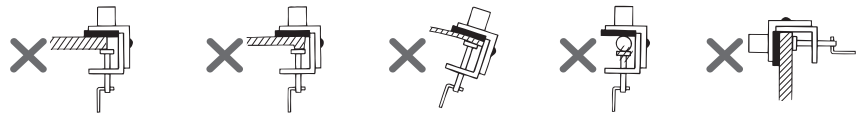
本体への取り付けかた

① 本体に灯具クランプを取り付けてください。

② 灯具支柱を、クランプに差し込んでください。



⚠警告 下図のような不安定なところには取り付けないでください。落下して火災の原因になります。



故障かな?と思ったら

こんな時は ⟶	こう処置してください
上棚がグラグラする	【書棚としてお使いの場合】 ●上棚の連結金具(P13参照)をドライバーで右方向に回して締め込んでください。 【天板の上に設置してお使いの場合】 ●本体と上棚を固定しているジョイント金具･L金具に使用しているネジ(P7参照)を均等に締め込んでください。
書棚がグラグラする	【本体に連結してお使いの場合】 ●連結プレートを固定している連結プレート固定ネジ(P6、P11参照)を締め込んでください。 【書棚を独立してお使いの場合】 ●転倒防止金具を固定しているネジ(P13参照)を締め込んでください。
机がグラグラする	●幕板の連結金具(P9、10参照)をドライバーで右方向に回して締め込んでください。 ●左右側板と天板を組み付けているネジ（P9参照）を締め込んでください。
引出しの出し入れが固い	●全ての引出しを一度最後まで引き出してからご使用ください。スムーズに動く場合があります。 ●引出し胴板のネジ(P16参照)が外れていないか確認してください。 外れている場合は組み付けてください。
灯具が点灯したり消灯したりする	●電源プラグが緩んでないか、確認してください。
灯具が点灯しない	●スイッチをOFFにし、5秒以上放置した後で再度スイッチをONにしてください。
コンセントのスイッチを押しても点灯しない	●コンセントのスイッチをONにし、灯具のスイッチがOFFになっていないか確認してください。 ●コンセントのブレーカー(灯具同梱の取扱説明書参照)が作動していないか、確認してください。 作動していれば、通電状態に戻してください。 ●次の要領で接続箇所を確認してください。 1. コンセントのスイッチをOFFにします。 2. コンセントの電源コードプラグが、ご家庭のコンセントに差し込まれているか確認してください。 3. 灯具電源プラグが、コンセント背面の照明器具専用差し込み口(灯具同梱の取扱説明書参照)に差し込まれているか確認してください。 4. コンセントのスイッチをONにし、点灯するか確認してください。

次ページへ続く ⟶

コンセントのスイッチを押しても点灯しない	●以上の動作を行っても点灯しない時は、灯具の電源コードプラグをご家庭のコンセントに直接差し込んで灯具のスイッチをONにしてください。 点灯すればコンセントに問題がある可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください ⚠警告 ●ブレーカーの操作は電源コードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。感電することがあります。
コンセントに電気製品のコードプラグを差し込んでも電気が通じない	●コンセントの電源コードプラグが抜けていないか確認してください。 ●コンセントのブレーカー（灯具同梱の取扱説明書参照）が作動していないか、確認してください。作動していれば、通電状態に戻してください。 ⚠警告 ●ブレーカーの操作はコンセントの電源コードプラグをコンセントから抜いて行ってください。感電することがあります。

※以上の処置をしても直らない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

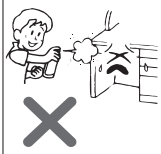
ご使用上の注意

水平に設置してください。引出しが固くなったり、ひずみの原因になります。

天板にヤカンや熱いものをのせないでください。白化や変色の原因になります。

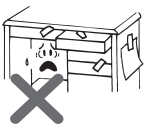
フローリングや畳の上でご使用になる場合はカーペット等を敷いてください。床や畳等に傷がつくことがあります。

直射日光があたる場所でのご使用は避けてください。変形や変色の原因になります。



殺虫剤等を吹きつけないでください。変色や変質の原因になります。

お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。シンナー、ベンジンや化学ぞうきん等は使用しないでください。変色や変質の原因になります。



シール・セロテープ等を貼りつけないでください。表面がはがれることがあります。

湿気の多い場所には設置しないでください。カビ発生の原因になります。

居室の換気はこまめに行ってください。シックハウス症の原因になることがあります。

イトーキ学習机保証書

品　　名		お なまえ		
お ところ		保 証 期 間	1年	外観・表面仕上（塗装及び樹脂部分の変・褪色、クロスの摩耗）
お買い上げ日	年　　月　　日		2年	機構部・可動部（引出し、スライド機構、錠前、昇降機構の故障）
品　　番			3年	構造体（強度・構造体に関わる破損）

■ご注意
保証書に所定事項の記入がない場合は本証とともに、お買い求め先の領収書を保存してください。
サービスマンがご訪問の節は必ずご提示ください。

保証規定

保証期間内、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。修理はお買い上げの販売店に本保証書を添えてご依頼ください。
次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。
【イ】お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障
【ロ】取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかった原因による故障
【ハ】消耗部品の消耗又はそれによる故障
【ニ】火災・塩害・異常電圧・地震・雷・風水害・その他天災地変などによる故障
【ホ】お買い求めの販売店もしくは当社以外での修理改造等による故障
【ヘ】離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
【ト】追加部品（鍵・棚・フック・引き手等）又は、お客様破損による追加部材等のご要望は有償となります。
【チ】保証書の提示がない場合

- 運賃等の諸費用はお客様にご負担していただく場合があります。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
- ご使用前に取扱説明書をご一読ください。
- 補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年間です。

株式会社イトーキ
〒536-0002
大阪市城東区今福東1-4-12

販売店　　印

- 天然木について：展示品とお届け品では多少木目柄や色が異なる場合があります。
- カギについて：機種により共通のタイプもある為、盗難の保証はいたしかねます。
以上のことについてあらかじめご了承ください。

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店までご連絡ください。

株式会社イトーキ　〒536-0002 大阪市城東区今福東1丁目4-12

お客様相談センター　0120-164177
東日本地区　〒169-0074　東京都新宿区北新宿2-21-1新宿フロントタワー19階 ☎03（6908）8050（代）
西日本地区　〒536-0002　大阪市城東区今福東1-4-12　☎06（6935）2009（代）